

## 【環境学習 脱炭素を学ぼう！】開催

環境保全委員会（塩澤茂治委員長）は、川路地区環境学習「脱炭素を学ぼう！」と題して、環境について学ぶ学習会を開催したので報告します。

【と き】令和6年12月15日（日）14時～

【場 所】川路公民館 大会議室

【参加者】23名（大人：17名 小学生：5名 高校生：1名）

【ようす】

はじめに、塩澤委員長から今回の学習会の目的について説明がされました。

気候変動対策は世界的な問題です。飯田市は2050年に二酸化炭素排出量ゼロを目指す「ゼロカーボン」に取り組んでいます。川路地区も「脱炭素先行地域」に指定されていて、2030年までに先行してゼロカーボンを目指しています。なので、この学習会で「脱炭素」について学んで脱炭素化への取り組みを一緒に考えましょう。

飯田市ゼロカーボンシティ推進課から、地球の気候についてレクチャーされました。

私たちが暮らす地球は、深刻な気候危機に直面しており気候危機克服のためには早期の「脱炭素化」が必要です。1.5℃目標：2021年COP26にて、世界の平均気温上昇幅を2.0℃から1.5℃以内抑制に方向転換

→目標達成のために 2050年にCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにする。

そのために、まず 2030年にCO<sub>2</sub>排出量を半減させることが必要不可欠。

（※COP26とは国連気候変動枠組条約第26回締約国会議 産業革命以前と比べての上昇幅1.5℃が目標）

◆衝撃的な説明・・・①地球温暖化から地球沸騰化へ ②気候変動から気候危機へ

3区：林晴彦さんと5区：多田井倫正さんから、身近で気候変動を実感していることの事例発表がされました。例年より高温だったためリンゴが半分しか収穫できなかった。カメムシが異常発生。野菜の収穫時期の遅れ等 実体験でした。

【脱炭素まちづくりカードゲーム】いよいよゲーム開始です。

しかし、みなさんこのゲームは初めてのようでした。

説明では、「電力会社や信用金庫、農家など、まちの様々なプレイヤーとなり、対話・協働しながら「脱炭素」に向けたまちづくりを疑似体験するロールプレイング型の体験プログラム」とのことです。上手く説明ができないので、**YouTube** で見てください。▶

脱炭素まちづくりカレッジとは



**【ごみの分別を徹底し、発生抑制しましょう！】**

環境保全委員会（塩澤茂治委員長）は、『お知らせ版（環境）かわじ』を発行して、ごみ分別と減量について啓発をしています。そこで、今回は川路のごみ出しのようすと稲葉クリーンセンターからのお知らせから抜粋して状況をお知らせします。また、今年から新たに「ホテルが住める環境づくり調査」を実施したので報告します。

◆◆ある日のごみ集積所のようすです◆◆



収集されずに残されたごみ袋

このごみは収集できません！



なぜ収集されない？  
資源≠ごみ！  
分別に迷ったら、**ごみ分別アプリ「さんあ〜る」**で確認を

**資源がごみとして燃やされている！**

◆◆稲葉クリーンセンターからのお知らせ より◆◆

資源ごみの割合（4月～9月集計）



増加はダメ



収集袋に入っていた  
プラ資源になるもの  
**プラ資源 4.89%**  
(約 457t)  
が燃やされています。



収集袋に入っていた  
紙資源になるもの  
**紙資源 7.63%**  
(約 714t)  
が燃やされています。

リサイクルステーションへ出してね！

資源となるものが燃えるごみとして出されています。処分するごみを減らす生活を実践しましょう。→ 分別徹底「ゼロカーボン」  
ゴミの 12.5% は本来資源として活用可能でした！

◆◆ホテルが住める環境づくり調査 ◆◆

環境保全委員会では、教育育成委員会（熊谷直樹委員長）が今年作成した「川路ホテルマップ」を基に、川路の河川の水質調査を行い、ホテルが住める環境をつくろうとしています。

今年は、水質調査を 12 月に実施しましたが、次年度からは「環境保全委員会」の継続事業として 6 月 8 日（世界環境デー）に近い日曜日に実施することとしました。



パケットテストによる水質調査結果



調査結果は、関係者で共有して水質の悪い川があれば改善策を検討し、「ホテルが住める環境づくり」を目指します。